

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		
児童発達支援・放課後等デイサービスLUMO天枝		2025年 2月 28日		
評価項目	チェック項目	評価結果		課題や改善すべき点
		はい	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		床のジョイントマットを新しくしたり、特別配慮が必要な子どもに対し、指導員が1人付いてしまったり他の子ども達に目が付かない場合がある。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		全体が見れるよう各自おぼらばら配置している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく整理された状態になっているか。また、養育者の依頼事項、指導の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、障壁上の配慮が適切になされているか。	○		子どもが安楽から飛び出したり安楽の脱着で落ちないように、指導員の待機する場所を気を付けながら、また、共有しながら連携を図っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる状態になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	○		子どもが安全を確保した上で環境で空間に出ることがあり、そのまま教室に居ることで衛生面を気にされている保護者様がいる。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンが必要な際指導員も一緒に準備室へ逃げができる。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	○		それぞれ課題があるように、振り返りをする時間を取っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		前年度のフードバックをLINEにて行っている為、送迎時より保護者のコミュニケーションを取っていきたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		その都度、職員間で意見を出し合い、業務改善や改善について話し合っている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者機関による評価を受けていない会社として第三者評価の実施を検討している。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を実施する機会が確保されているか。	○		実践研修は即実践に活かせる内容が多岐かつ豊富です。
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPに公表しています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々職員間で子どもの様子話し合いを行い支援計画を作成している。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、定常発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員が目を注ぎようとして、それぞれの観点から計画書を作成出来ている。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画自体を職員全員が把握していること、日々子どもの様子やかわり方、支援方法を話し合い機会を設けている。
	15 こどもの個別行動の観察、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		運動や子どもの様子やまとまれるツールを用い、日々更新や確認を行っている。
	16 放課後等デイサービス計画は、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「地域連携」のわいび及び支援の提供を踏まえながら、こどもの支援に必要な事項が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		提供すべき支援や家族支援、移行支援に関して行っている。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当の職員が基本考えられているが、その程度での共有やもとなる支援内容などの共有はしている。
	18 活動プログラムが固定化をしないよう工夫しているか。	○		それぞれが工夫してメニューを組み立てている。また、活動の内容や中身の多寡など調整している。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、実施が行われているか。	○		基本的に集団での活動を行っているが、その中で個別の支援や指導も実施している。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動の内容や中身を共有し、活動員の配置なども決めたりしている。
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、実行した点等を共有しているか。	○		その日だけでなく、翌日の朝礼でも、支援の振り返り共有している。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の記録・改善につなげているか。	○		活動はその日のうちに記録に残している。また、その記録を振り返り日々の活動や話し合いの場で活用している。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回、児童から放デイに代わるオンラインなどで音聲の見直しを全職員で行っている。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		子どもの姿などから必要に応じて製作活動等を行っている。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促すかを育てるための支援を行っているか。	○		まずついでにやりたい活動を選択し、結果を振り返る。やりたい理由を取り組むなど、選択し決断の機会を作っている。
	26 発達支援計画策定委員のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○		サービス担当者会議を実施している。
	27 地域の保健、医療（生活介護や施設療育機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて子どもの様子などを情報共有している。
	28 学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連携）を適切に行っているか。	○		送迎サービスを実施していないので、学校との連携ややり取りする機会が少しい。
	29 説明書に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解が図られているか。	○		保育所・幼稚園等とのやり取りが多量でない。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供し等しているか。	○		情報共有できる事項はある。その年代の利用者がまだ少ない。
関係機関や保護者への説明等	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや出張や研修を受け入れる機会を設けているか。	○		連携は少しあが定まっている。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他とのとも活動する機会があるか。	○		該当なし
	33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	○		該当なし
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINEにてその日のフィードバックや学校での様子などの情報共有を行っている。また、必要があれば半年ごとの面談以外にも保護者へ話し
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じて、動画を用いて、ご家庭でもできるワークをお伝えしている。
非常時等への対応	36 運営規程、支援プログラム、利用申込書等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に伝えしている。また、質問があればその都度対応している。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングや面談にて家族の意向の確認を行っている。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の提供を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時にお伝えし、同意を得ている。
	39 児童等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	○		LINEでは、随時質問や悩みごとなどの対応はしており、必要に応じて子どもと保護者と分けて面談する場を設けている。
	40 父母の会の活動や支援を行うことや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		該当なし
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整えるとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		その都度職員で話し合い、対応を検討し、体制を整えている。
	42 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		動画等で活動内容を保護者に伝えている。
	43 個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのロッカーに個人ファイルやPCなどを保管。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもの特性に合わせた活動内容を調整しやすいうように伝え、楽しく活動に参加できるようにコミュニケーションを取っている。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	○		療育を主としている為、行事については未実施。
非常時等への対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的に研修等を行っており、職員には認知している。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常時の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		ご利用者を含めた訓練を半年に一回、定期的に行っている。
	48 事前に、障害や予防設備、ぜんぜんん作等のこどもの状況を把握しているか。	○		契約時や体験時にカウンセリングシートなどに記入していただいている。
	49 救済アレルギーのあるこどもについて、医師の処方箋に基づく対応がされているか。	○		該当なし
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で実施が行われているか。	○		契約時に確認し、提示を行っている。
	51 こどもの安全確保に関して、事故防止と連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知しているか。	○		契約時に確認し、了書を得ている。利用者の見守り利用や避難経路等の提示を行っている。
	52 ヒアリングを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生した後は直ちに保護者に報告、全職員で共有、対策について検討している。
	53 条件を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待の発生への影響、虐待の起こりやすい環境などより内容を深めた研修を行っている。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に確認、承諾を得ている。また、やむを得ずに行なった場合は事前に保護者への報告と職員間で共有を行っている。